

# 山口県の海洋ごみ対策について

# 1. 概要

## やまぐち海洋ごみアクションプラン

- ・ 海岸漂着物処理推進法に基づき、県における海岸漂着物の回収・処理や発生抑制対策を定めた計画
- ・ H30年度の法改正等を踏まえて、R3年3月に改定
  - 主な改定内容
    - ① 海底・漂流ごみ対策
    - ② 内陸から沿岸に渡る流域圏の多様な主体との連携
    - ③ マイクロプラスチックを含む、海洋プラスチックごみの発生抑制対策

## やまぐち海洋ごみアクションプラン推進事業

- ・ 市町による漂着ごみの回収・処理への支援や漂着物の実態調査等に加え、計画改定により新たに追加した、海底・漂流ごみ対策や多様な主体と連携した海洋プラスチックごみの発生抑制対策などを重点的に実施



## 2. やまぐち海洋ごみアクションプラン推進事業

### 【予算額（R7）】

65,028千円（環境省地域環境保全対策費補助金（56,295千円）を活用）

### 【回収・処理対策】

事業名	予算額（R7）
山口県海岸漂着物等地域対策推進事業	48,980千円
海底・漂流ごみ回収・処理体制確立推進事業	6,249千円

### 【発生抑制対策（実態調査含む）】

事業名	予算額（R7）
住民ボランティア清掃活動推進事業	2,584千円
海岸漂着物実態調査	2,383千円
河川ごみ実態調査	4,796千円
協議会運営経費	36千円

## 2. やまぐち海洋ごみアクションプラン推進事業

### 【回収・処理対策】

#### (1) 山口県海岸漂着物等地域対策推進事業

海岸における良好な景観や環境、海岸機能の保全や漁業、観光の振興を目的に、市町が実施する海岸漂着物の回収・処理等を支援（補助率：7/10～9/10）

#### ○R7実施市町（11市町）

下関市、宇部市、山口市、萩市、下松市、岩国市、光市、長門市、周南市、周防大島町、阿武町

※実施箇所数：407箇所、回収・処理量：212トン  
（未完了の事業等があるため暫定値）



ボランティア清掃の様子



委託清掃の様子



運搬の様子

## 2. やまぐち海洋ごみアクションプラン推進事業

### 【回収・処理対策】

#### (2) 海底・漂流ごみ回収・処理体制確立推進事業

漁業者の協力を得て回収された、市町による海底・漂流ごみ処理への支援  
(補助率：10/10)

参考：漁業者と自治体の協力による海洋ごみ回収マニュアル (R5.8 環境省)

[https://www.env.go.jp/press/press\\_02065.html](https://www.env.go.jp/press/press_02065.html)

市町	担当課	協力漁協等	漁法	処理量	主なごみ
下関市	水産振興課	彦島支店 下関南風泊支店	底引き網	0.14 t	漁網、ロープ、うき
萩市	環境衛生課	はぎ統括支店	底引き網 はえ縄漁	1.5 t	漁網、ポリ容器
長門市	生活環境課	通定置(株)等	定置網他	9.82 t	漁網、ロープ 等
周防大島町	農林水産課	浮島支店	底引き網	10.66 t	漁網、廃プラ



## 2. やまぐち海洋ごみアクションプラン推進事業

### 【発生抑制対策】

#### (1) 住民ボランティア清掃活動推進事業

海岸漂着物の回収・処理の促進及び発生抑制に向けた普及啓発を行うため、「日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃」などのボランティアによる海岸清掃を支援

【対象市町】 3市1町（下関市、萩市、長門市、阿武町）

【事業実績】 実施箇所数：53箇所、参加者：13,353人、回収量：57トン

#### 《スタート清掃実績》

R7年度は荒天のため中止

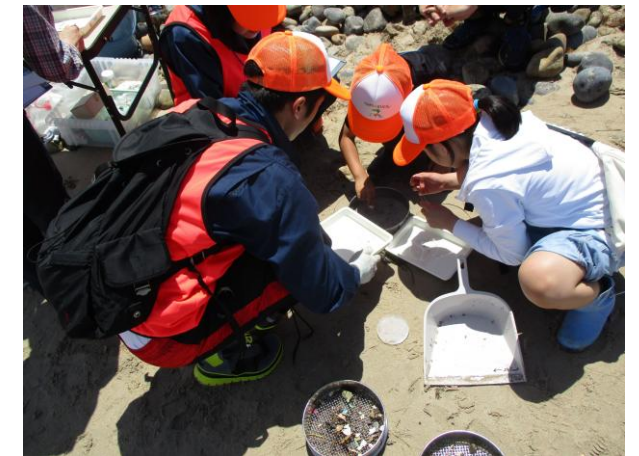
（参考：R6年度）

【参加者】 450人

【回収量】 1.6トン



スタート清掃の様子 (R6)



マイクロプラ環境学習の様子 (R6)

## 2. やまぐち海洋ごみアクションプラン推進事業

### 【発生抑制対策】

#### 《ONE FOR OCEAN～海洋プラスチックごみアップサイクル事業～》

行政、企業、民間団体が連携して、海岸清掃で回収した海洋プラスチックごみ  
を買い物かごにアップサイクルし、県内のスーパーで活用することにより、海洋  
プラスチックごみ問題を広く県民等へ普及啓発

- R6. 5-7 海岸清掃（下関市、萩市、長門市、阿武町）ポリタンク約145個回収
- R6. 11 アップサイクル買い物かご（3,000個）をスーパーマーケットに導入



清掃活動の様子（R6）



集められた青色ポリタンク（R6）



買い物かご導入セレモニーの様（R7）

## 2. やまぐち海洋ごみアクションプラン推進事業

### 【発生抑制対策】

### (2) 海岸漂着物実態調査

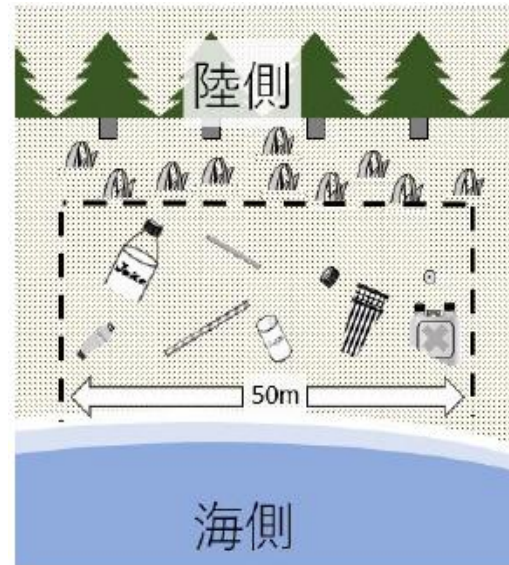
県内海岸における漂着物の経年的な組成と量の推移等を把握するため、組成調査を実施

【調査時期】 令和7年12月8日～12日

【調査地点】 4地点（下関市、防府市、長門市、周防大島町）



調査地点図



調査範囲



調査の様子

# 2. やまぐち海洋ごみアクションプラン推進事業

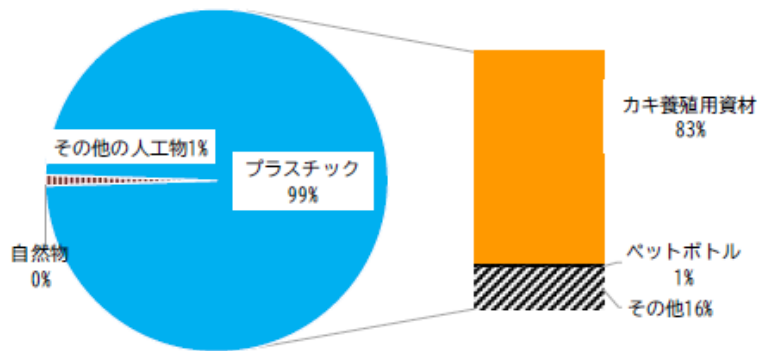
## 【発生抑制対策】

### (2) 海岸漂着物実態調査

#### 《調査結果（個数）》

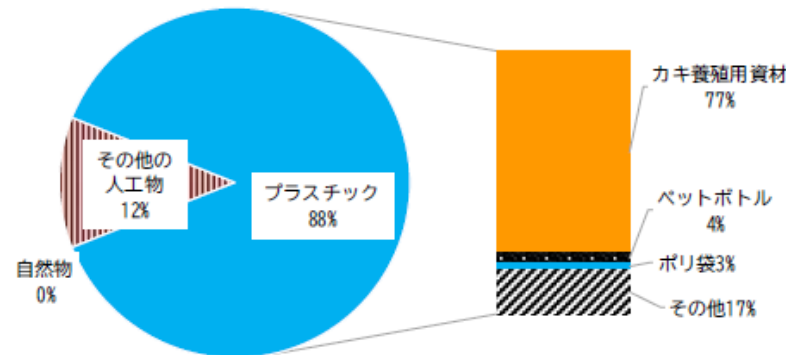
- ・瀬戸内海側（周防大島町、防府市）カキ養殖用資材が多い
- ・武久海岸（下関市）生活雑貨などのプラスチックごみが多い
- ・大浦海岸（長門市）海外製のプラスチックごみが多い

神浦海岸（周防大島町）



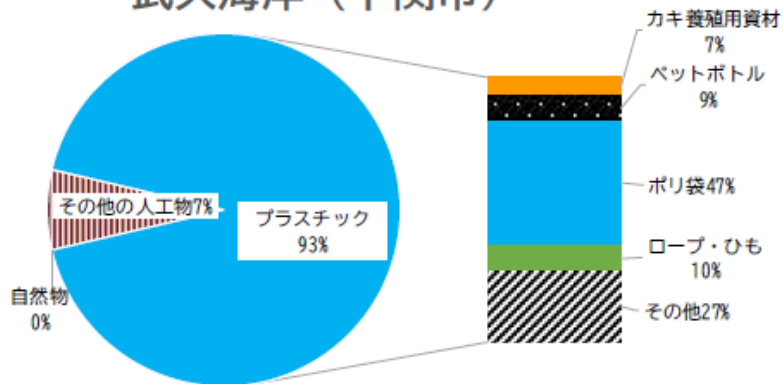
【個数】：6,805個/50m

中浦海岸（防府市）



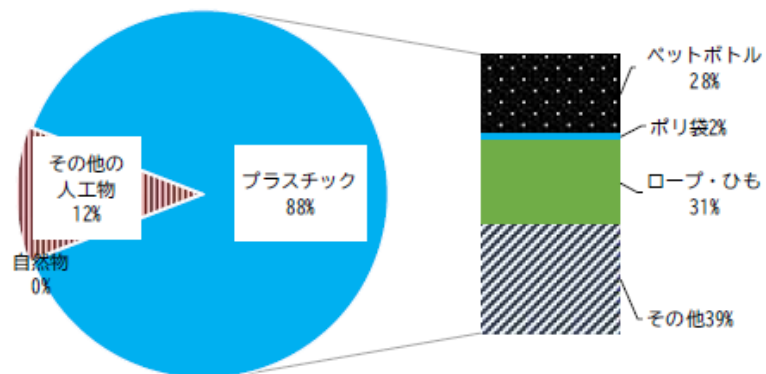
【個数】：580個/50m

武久海岸（下関市）



【個数】：1,724個/50m

大浦海岸（長門市）



【個数】：764個/50m

# 2. やまぐち海洋ごみアクションプラン推進事業

## 【発生抑制対策】

### (3) 河川ごみ実態調査

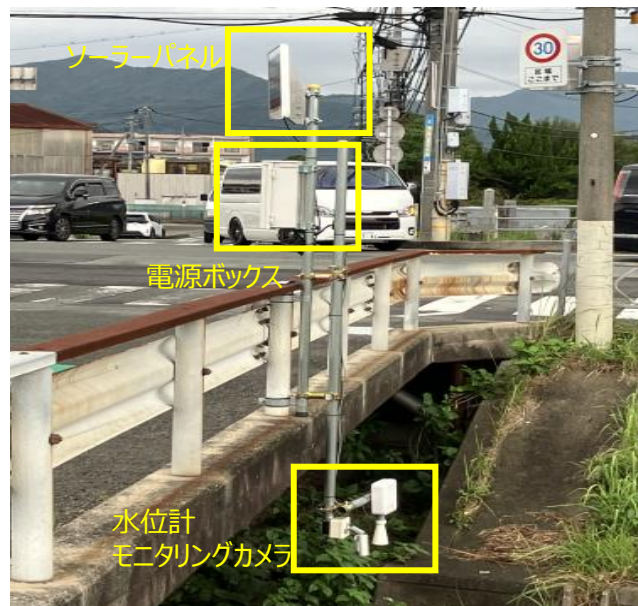
河川から海域に流出するごみの実態を把握するため、河川を流下するごみ量及び組成等の調査を実施

【調査時期】 令和7年6月24日～10月27日

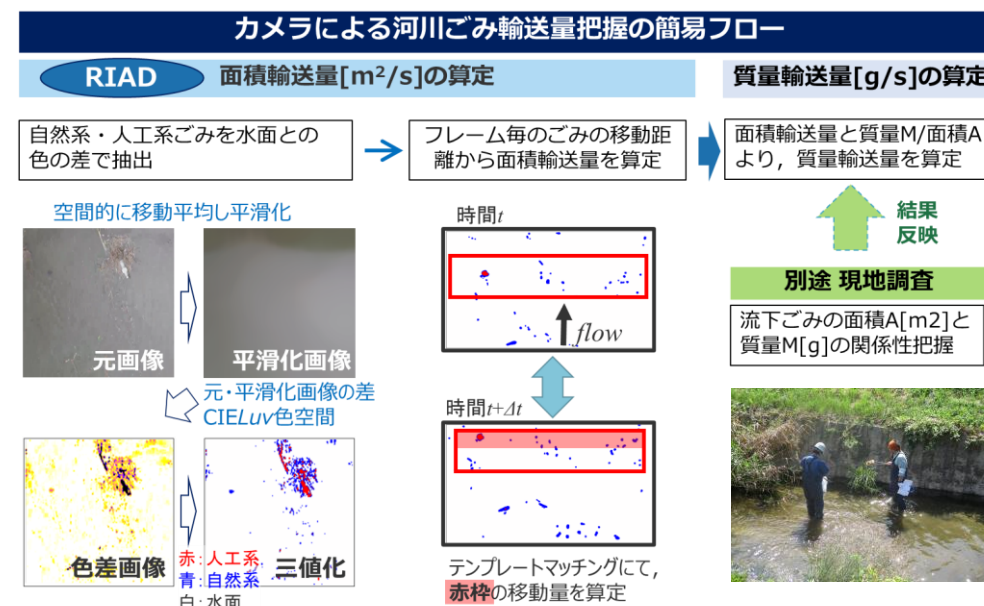
【調査地点】 九田川 小路橋 (山口市)



調査地点



モニタリング機器



モニタリングの簡易フロー図

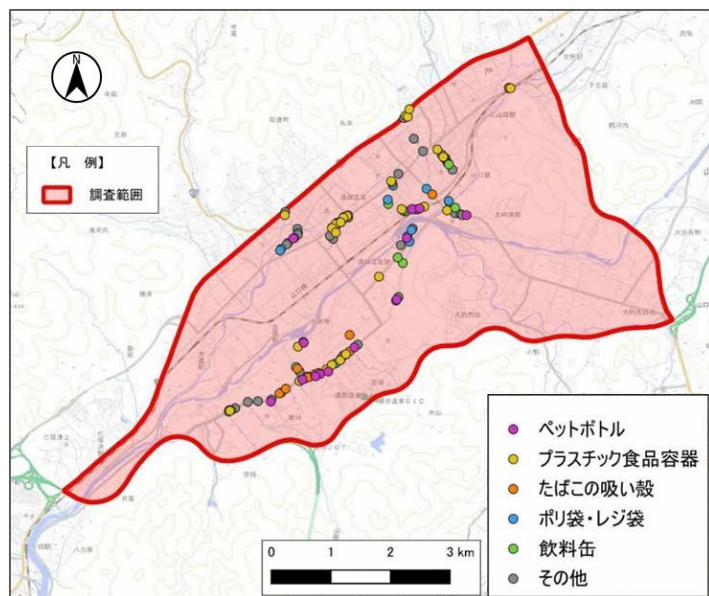
## 2. やまぐち海洋ごみアクションプラン推進事業

### 【発生抑制対策】

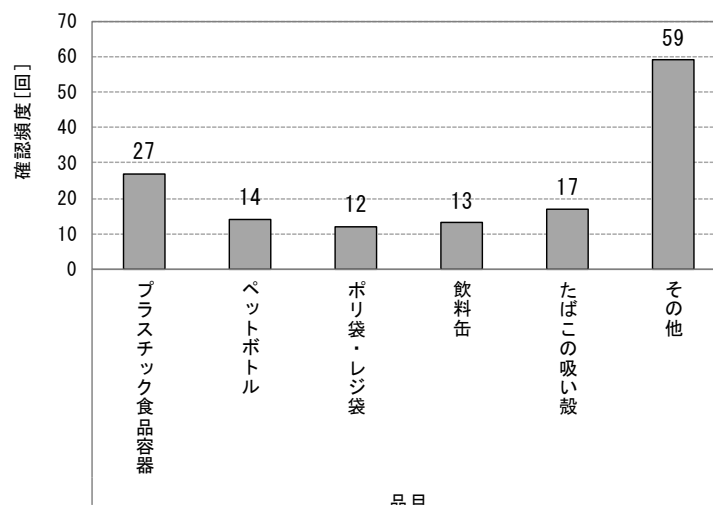
#### (3) 河川ごみ実態調査

##### 《散乱ごみの分布状況調査》

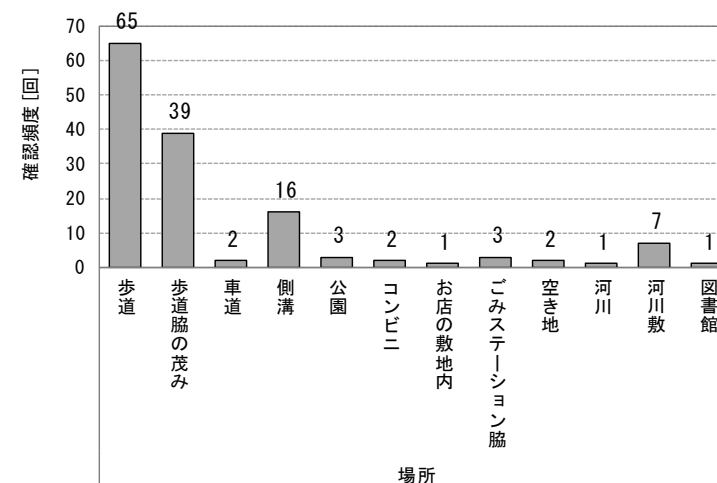
- ・ アプリケーションを用いて、河川を通じて海域へ流出する陸域の散乱ごみの実態を調査した。
- ・ 品目別ではプラスチック食品容器が、場所別では歩道が最も多く確認された。



確認位置図



品目別確認数



場所別確認数

## 2. やまぐち海洋ごみアクションプラン推進事業

### 【発生抑制対策】

#### (3) 河川ごみ実態調査

##### 《調査結果》

- 山口県内から瀬戸内海へのプラスチックごみ流出量は、233.05 t /年と推計

#### 山口県からの プラごみ流出量[t/年]

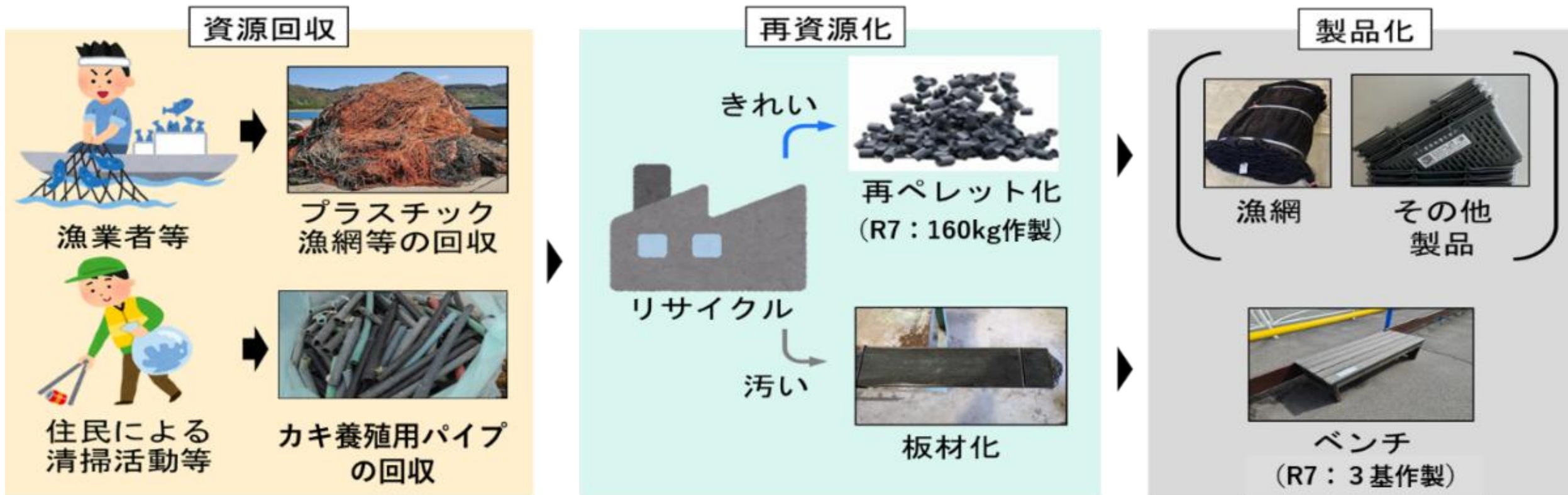
推計に用いたL-Q式	2024	2025	2024・ 2025
年間ごみ流出量(t/年)	35.84	233.05	55.72

#### 1人あたりの プラごみ流出量[g/y/人]

推計に用いたL-Q式	2024	2025	2024・ 2025
1人あたりの 年間ごみ流出量(g/年/人)	28.91	188.03	44.95

### 3. プラスチック資源化促進事業

- 目的：プラごみの減量化と脱炭素化を図るため、焼却されているプラの資源循環を促進
- 内容：漁網やカキパイプの回収・再資源化の検討 → 今後、事業化に向けた検討
- 構成：(株)ピリカ、県産業技術センター、周防大島町、ニチモウ(株)、山一(株) 他 → 今後、県内大学が参画予定



## 4. 瀬戸内海プラスチックごみ対策ネットワーク

○瀬戸内海において、効果的なプラスチックごみ対策を実施し、きれいで豊かな瀬戸内海を守るため、環境省と関係14府県が連携して海洋ごみ削減への行動を一緒に実施

○令和7年度は、14府県が連携した取り組みとして、一斉清掃を実施

一斉清掃強化月間：9月～11月

### <令和7年度実施清掃活動一覧>

No.	イベント名	実施場所	実施海岸等	実施日	参加人数(人)	総量(kg)*
1	「リフレッシュ瀬戸内」海岸清掃	下関市	長府御船手海岸	9月27日	308	3,890
2	プラスチックリボン大作戦 in 周防大島町	周防大島町	白鳥ヶ浜	10月11日	56	51.1
3	大津島海岸・海底清掃	周南市	大津島漁港	10月18日	70	850
4	海洋ごみからきれいな平郡島をみんなの力で守ろう！	柳井市	平郡西海岸	10月19日	39	590
5	麻里府海岸清掃	田布施町	麻里府海岸	11月8日	7	10



プラスチックリボン大作戦 in 周防大島町